



第二ぎんなん便り

熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
令和4年7月26日
第434号



七夕づくりをしました

第二ぎんなん作業所では、作業前の朝の会で、いろいろな話をしています。その中で、利用者さんから「七夕の行事をしたい」という希望がありました。

今回は、広用紙に大きく描いた笹の絵に短冊を貼り付けていくことにしました。金曜日午後のリフレッシュタイムに、みんなで短冊書きを行いました。健康の事、友達の事、趣味の事など、思い思いの個性あふれる願い事が一枚の紙に集められました。



それぞれの気持ちがすごく伝わってくる「七夕の願い」でした。利用者さんの中には、自分の気持ちをすぐに言葉で伝えられないという方が何人かおられます。あらためて一人一人の思いを大切に受け止めていくことの大切さを感じました。

また、障がいを持たれる方と共に生活する私たちは、支え守るという面も大切になってきます。先日、国の「障害者虐待防止法」をもとに「熊本市手をつなぐ育成会」の法人全体で「障害者虐待防止委員会」を立ち上げました。

これまでの事例を検証し、どのような場面で虐待等が起きるのか、防ぐための方法、研修の持ち方など話し合いを始め、意識を高めています。

ご家庭や地域の方でお気づきの事やご意見等がございましたらご連絡ください。(守尾)

手作りマスクをいただきました

パイロットクラブの陣内ヒロミ様と兵庫県の上村俊枝様他3人の関西地方の方々が来所されました。2年前から度々手作りマスクを頂いていましたが、今回は直接渡したいということでの来所でした。和柄や花柄、中にはレース付きなど心のこもったマスクをたくさん頂きました。大切に使用させていただきます。



多額の寄付をいただきました

熊本パイロットクラブの皆さんからにはこれまでもたくさんのご支援をいただいておりますが、今回も作業所に多額の寄付金をいただきました。

利用者さんの生活に役立つものに使用させていただこうと思っています。ありがとうございます。



受託作業はじめました

7月になり、受託作業が始まりました。最初は山の上団地の敷地内の環境整備を行いました。厳しい暑さの中での作業でしたが、すっきり刈り上げた後、団地の皆さんからも感謝の言葉をいただき、充実感を味わうことができました。

